

17/5  
昭和21

## 焼け野原の軍国少女 物申す

無職

(大阪府 85)

を傷つけることもなく、後世に名を残すと信じる。

集团的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法案が衆院特別委員会で審議されている。自民・公明両党は今月中旬の委員会採決を目指す方針を確認したと報じられているが、慎重の上にも慎重であってほしい。

法案が通ること、日本が周辺国に不信感をもたれることを私は恐れる。米国におもねって採決にこだわると、日本国民の意をくんで廃案にする決断こそが平和国家日本として世界の人々の信頼に添えることになる。安倍晋三首相の名

京都育ちで小学6年で台湾に渡った私は、戦況悪化を受けて1945年春、母とともに帰国、福井にある母の実家に身を寄せたが、7月に大空襲にあった。翌朝見た一面の焼け野原を昨日のように思い出す。

戦時教育で軍国少女だった私は「戦争反対」を口に出れなかった一人としての後悔とともに、物申すことのできる民主化した国になったことに感謝している。体力的にデモに参加できないことを残念に思いつつ、今の思いを投稿した。